



2025 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名	光ビジネスフォーム株式会社
代表者名	代表取締役社長 松本 康宏
(コード	3 9 4 8)
問合せ先	取締役管理本部長 岡野 寛
(TEL	03-3348-1432)

生産設備の再構築に関するお知らせ（開示事項の経過）

当社は、2025 年 5 月 9 日に生産設備再構築の経過について、お知らせいたしましたが、その後の経過について、お知らせいたします。

記

1. 新生産拠点建設計画の進捗状況について

新拠点の設備内容につきましては、2024 年 2 月に公表した中期経営計画および 2025 年 2 月に公表した修正計画でお示したとおり、需要動向を慎重に把握し、具体的な建設計画を定める方針でおりました。

① 新生産拠点の設置戦略について

当社の業歴は、ビジネスフォームの印刷に始まり、データプリントへの挑戦から大きく事業転換を果たしてまいりました。また、過去の延長線上にある路線はペーパーレスの大きな流れの中では、将来的に委縮の方向しかないという認識にあります。したがって、新拠点の設置はその目的において必要不可欠な投資であるという位置づけに変更はございません。

② BPO 需要動向について

中期経営計画の発表以後、お蔭様で多くのお客様から、アウトソーシングのご相談をいただいております。それぞれ、規模の大小はございますが、どれも当社の事業実績を踏まえたうえで、ご期待いただいているものであるとの認識のもと、具体的な協議を進めてまいりました結果、当社での受託を開始したものもございますが、受託見送りとなった大型案件もございます。

③ 土壌汚染調査の状況について

建物の解体を前提とした土壌汚染調査につきましては、一部に六価クロムが発見され、東京都及び八王子市との間で対処方法を協議してまいりました。その結果、建物を解体する場合や、解体しない場合のそれぞれの場合の対処方法について、当局との協議は終了し、対策も完了いたしました。

2. 新生産拠点設置計画の方針について

新拠点の設備内容につきましては、現有の建物を解体して新築する場合と現有の建物を修繕・改修して再利用する場合について検討を続けてまいりました結果、次の理由により、現有の建物を修繕・改修する方針と致しました。

① BPO 需要実現の長期化

前記のとおり、大型のアウトソーシング案件の受託が見送りとなったものの、アウトソーシング需要は着実に存在し、中でも金融機関のバックオフィス業務で受託が実現しテストを繰り返す行うなど、慎重に業務拡大の取組みを進めております。引き続きアウトソーシングのご相談を複数のお取引先から頂いており、長期的な需要にこたえてまいる所存でございます。

② 現有建物の耐用期間

現有建物は、重量負荷の大きい印刷機や加工機の設置を継続するには耐用年数が限界に近いと判断されましたが、事務処理が大半のBPO業務を行う場として使用する際は耐用年数に十分余裕があると考えられます。

③ 建物新築の費用高騰と完工見込時期

昨今の人件費、建築資材の高騰を踏まえた場合、建物新築の投資規模は当初想定 20 億円から 25 億円を大きく上回ることが予想され、当社の現在の経営体力及び今後の業績見通しからも、投資リスクが大きいと判断いたしました。

3. 新生産拠点計画に係る今後の予定について

現有の建物を修繕・改修の上新生産拠点として再利用する場合、土壌汚染管理設備や電源設備の設置等については、今期中に費用が発生する見込みであります。また、新生産拠点の稼働開始は、BPOの需要動向を踏まえ、あらためて建築業者に見積を依頼している状況であるため、改装工事費用については、来期以降の発生見込みでございます。一方、当初予想した解体費用については発生しないことになります。

従いまして、本件方針確定により今期業績見通しに大きな変更が生じる可能性は見込まれますが、詳細を精査の上、2025 年 12 月期第 3 四半期決算の公表（11 月 10 日予定）までにはお知らせする予定でございます。

以 上